

戦略評価シート

二ツ井町 商工会

令和3年度(5年目)

※戦略評価判定基準:戦略を構成する施策の評価結果に基づき、(A)(順調)、(B)(概ね順調)、(C)(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会		総合評価
施策1	商工会ならではの事業承継と創業推進	Ⓑ
施策2	巡回の質的向上による個社支援の実施	Ⓐ
施策3	地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施	Ⓑ

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
高齡事業所を中心に事業承継が進み、空き店舗情報整備による創業支援実績もあった。高度な課題にはチーム支援で課題解決。また販路開拓に関する講習会の開催、商工会HPリニューアル、各種補助金申請支援による成果もあった。	後継者不在の所はまだ多く、継ぎたいと思うような経営に導くことも必要。創業支援の一環の空き店舗は貸出し不可の所が多い。課題解決が必要な事業所の発掘、新型コロナに対応した新しい販路拡大の取り組みなども課題である。	今後も「商工会ならではの徹底サポートによる事業承継と創業」を推進する。また、新たな取り組みを効果的なものとするため、専門家と連携しながら経営発達を下支え。新型コロナに対応した事業再構築なども支援していく。

戦略2 プロ集団の商工会		総合評価
施策4	職員の支援スキル向上	Ⓐ

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
事業承継、財務戦略アドバイザー、働き方改革、民法改正、REASAS、EOセミナー、インボイス、労務助成金など幅広い分野の研修会に、オンラインも活用しながら職域に関わらず積極的に参加して、職員の支援スキル向上に繋がった。	当商工会は小規模な商工会であり、多様化・高度化する課題に対応しながら個社支援を強化していくためには、全職員が幅広い業務に精通し最大限能力を発揮していく必要がある。	引き続き、積極的な研修会受講、オンラインセミナーの活用、業務のローテーション化などによる職場内教育(OJT)の推進に取り組み、職員の支援スキルの向上を図る。

戦略3 事業者が主役の商工会		総合評価
施策5	総代会制から総会制への移行の推進	Ⓑ
施策6	商工会未加入者リストを活用した会員加入促進運動の実施	Ⓐ

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
総会制に移行したことで、より多様な意見を反映させることができるようになった。また、未加入リスト活用だけでなく、事業承継・創業支援(地区外含む)、非会員にも新型コロナ給付金申請支援などで目標以上の新規会員を獲得した。	総会制に移行したが、全会員数と実出席者数の割合でみると参加率はまだまだ低い。また、多くの新規会員を獲得したが、廃業などによる脱退も多く、トータルでは会員数が減少している。	日常的な声掛けやハード・ソフト両面の支援機能強化により支持率の更なる向上に努め、総会出席者の増加に繋げる。また、引き続き役職員が一体となった加入促進を行い、事業承継・創業・新型コロナ支援でも新規加入に繋げる。

戦略4 機動的・効率的な商工会		総合評価
施策7	ICT活用による情報発信力の向上	Ⓑ
施策8	支援拠点のあり方検討	Ⓐ

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
HPリニューアルにより支援メニューが明瞭化し、HPきっかけの支援で創業に至った事例もある。商工会報の全戸配布も有効だった。また、商工会館について移転先の情報収集や解体費見積、移転検討委員会設置の理事会承認を得た。	HPについては、更なる更新数増加や内容の充実、支援事例の掲載など。また、商工会館については、町内に適切な空き施設があるか、現在の積立金で移転・改修が可能かどうか、が課題である。	HPに空き店舗情報(創業者向け)、道の駅から街なかへの回遊策、支援事例なども載せPRに努め、案件発掘に繋げる。また、商工会館移転検討委員会での議論を移転計画にまとめ、早期移転の実現により会員サービス向上に繋げる。

戦略5 環境変化に強い商工会		総合評価
施策9	将来に備えた中長期財政計画の策定	Ⓑ

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
財政シミュレーションを行い、中長期財政運営計画を策定。それを踏まえながら会員加入の促進を行うて会費や手数料の増加に努め、自己財源比率が向上した。	予算に沿った事業執行やシミュレーションを基にした自己財源確保に努めているが、会員数減少の影響は大きい。	会員加入の促進とハード・ソフト両面の支援機能強化による会員サービス向上を会費と手数料の増加に繋げて、自己財源比率をさらに向上させていく。また、最新の状況を踏まえた財政シミュレーションも継続し、運営体制安定化に繋げる。